

住民懇談会意見（部門別整理表）

【生活環境専門部会】<建設水道関係>

	北檜山区	大成区	瀬棚区
地域の話題・課題	【流雪溝の活用】（青） ・流雪溝の利用時間		【除排雪】（地） ・2区、6区町内会で、道道に面して居る方々は、排雪等に苦労している。合併後、道道の排雪は相当量積もらないと実施しない。交通事故の懸念がある。一人暮らしや高齢者世帯が多くなっているため、雪かきも困難。
		【環境整備】（子） ・側溝のフタの整備が悪く、子供が足をけがしている。 ・町道の草刈りが行われていない。子どもが危険。	
		【町営住宅】 ・町営住宅の修繕に対する対応が悪い。（子） ・町営住宅の空き家が目立つ。（商） ・収入の高い人が入居できる町営住宅に入居する人が少ない。（商）	
		【住宅問題】（商） ・民間アパートがない。	

地域としての解決策・アイデア・重点テーマ	【土地利用】（地） ・せたな町に（人が）帰って来るような町政。遊んでいる土地の活用。 ・UIターン、団塊世代の移住対策として、町内の土地や空き家情報を全国に発信。（人口増加） ・利用していない町有地を農地として貸し出してはどうか。 ・土地分譲や世話などにより移住を促進するべき。	【土地利用】（商） ・宅地造成を進めて地域の人口増に努力願いたい。	【土地利用】（商） ・北檜山区の豊岡と瀬棚区の南川をつなげるような対策。空白地帯の解消。
	【計画性のある基盤整備】（商） ・道路整備や都市計画は将来を見据えてしっかり実施してほしい。土地の取得等、計画がしっかりしていれば住宅や店舗も計画的に建つのではないか。	【市街地の整備】（青） ・自分たちの住んでいる町を、まず先に整備してほしい。（都地区の市街地整備） 【道路の整備】 ・地域の地理的条件の不利な中で、特に社会資本の整備等には工夫が必要。（商） ・3区を結ぶ道路整備が必要。各区に入りやすい道路。（商） ・生活道路の拡幅工事、整備をしてほしい。（商） ・北檜山へ行く道路について、幅を広くして貰いたい。冬道が一番困る。（北檜山国保等への通院など）（高）	【道道の整備】（地） ・道道の道巾を広げれば良い。
	【流雪溝の活用】（青） ・流雪溝の時間の延長。 ・高齢者は流雪溝に投雪できない。 ・流雪溝が凍結することが多いので、改良してほしい。	【環境整備】（子） ・役場の見回りや地域住民が連携して、側溝のフタの整備をする。 ・冬期の除雪を早くしてほしい。登園時に間に合っていない。	

住民懇談会意見（部門別整理表）

【生活環境専門部会】<地域生活関係>

	北檜山区	大成区	瀬棚区
地域の話題・課題	【町内会活動】（地） ・近所同士のつきあいが希薄になっている。町内会に若者がなかなか参加しないので、町内会が高齢化している。 ・少子高齢化については、町全体で考える事 ・高齢化によって町内会の組織役割が果たせなくなる。 ・町内会活動も高齢者がメインとなってきている。	【町内会活動】（地） ・町内会活動には皆協力的である。	【町内会活動】（地） ・町内会員の高齢化、少子化のため、活動が困難である。行事も行えない。（お祭りも人手不足で神輿当番ができない状態である。）
		【防災体制】（地） ・居住地域によって、災害に対する意識に温度差がある。	
		【防犯対策】（地） ・防犯の意識が低い。	

地域としての解決策・アイデア・重点テーマ	【町内会活動】（地） ・高齢者世帯や独居老人世帯に対しての声かけ運動等を行い、身近な地域づくりを。	【町内会活動】（地） ・地域の人々が常に他人の事を思いやる。 ・高齢者世帯に対する声かけ運動を実施している。 ・町民は、安心して住みよい町づくりを望んでいる。 ・町民同士があいさつできるような町づくり。	【町内会活動】（地） ・高齢者世帯に対する声かけやお互いに助け合う活動が地域に根付くように。近所づきあいが大事。 ・町内会と行政が一体となった組織づくり。 ・町内会の再編も検討しなければならない。 ・補助金も実情を検討しながら一律カットではない方法で。
		【祭典の充実】（教） ・祭典の山車を一ヶ所に集めて太鼓合戦を開催し、集客を図り、経済効果を図ってはどうか（観光の面の強化）。	
			【包括支援センターの充実】（地） ・高齢者医療等、包括支援センターと町内会との連携強化が必要。
		【地域の防災対策】（地） ・災害時のボランティア活動の人員配置。 ・高齢者住宅への災害ボランティア参加。 ・町内会だけでなく、町全体でボランティアの組織化を。 ・防災活動（避難訓練等）を各地域、町内会ごとに実施してはどうか。	【地域の防災対策】（地） ・避難場所に指定されている施設の老朽化や移動手段（車での移動）等、見直しが必要ではないか。 【消防体制】（商） ・複合的な消防署（商工会等併設）の建設。（北檜山と瀬棚間の空白地帯）
	【その他】（商） ・真駒内ダム公園の携帯不通の解消。	【街路灯の整備】（教） ・町を明るいイメージにする為、防犯も兼ねて、町の中心部だけでも街路灯を増やす。	

住民懇談会意見（部門別整理表）

【生活環境専門部会】<環境衛生関係>

	北檜山区	大成区	瀬棚区
地域の話題・課題		【ゴミ問題】（青） ・地域が潤い明るく住みやすい町、綺麗な町。ゴミ問題。 ・町をきれいに。 ・ゴミの不法投棄が増大している。	【ゴミ問題】（青） ・ルールを守ってほしい。（他から持ってくる） ・資源ゴミの種類が多い、リサイクルをしている人がお金をかけて袋を買い頑張っているのが、バカみたいである。
		【住みよい環境づくり】（地） ・町内会による施設の草刈りやゴミ拾いは、現在も行っている。 ・アルミ缶を回収し、車椅子を老人に提供している。	

地域としての解決策・アイデア・重点テーマ	【ゴミ問題】（青） ・分別ゴミ、資源ゴミの袋代を安くしたら、きちんと分けるようになるのではないだろうか。 ・ゴミ袋のサイズも増やした方が使いやすい。	【ゴミ問題】（青） ・ゴミ袋を安くしてほしい。 ・商店でハッポウやトレイを回収して、リサイクルしては。 ・自宅での生ゴミ処理機の補助を行ってはどうか。 ・町をきれいにする為に、ポイ捨て禁止条例を作る。	【ゴミ問題】 ・資源ごみの袋を安くしないと意識が変わらない。（青） ・町内会で袋を買うか、ステーションにリサイクル用のゴミ箱を置くなどしてほしい。（青） ・ゴミを作らない政策を協議すべき。全道全国的に換算すると莫大な税金を使っていることになる。（商）
		【住民の参加】（教） ・ボランティア活動（ゴミ拾い、花いっぱい運動）を広げたい。	【花いっぱい運動】（商） ・花いっぱい運動は縮小すべきである。手入れできないのであれば、やめた方がいい。
		【野良猫対策】（高） ・野良猫の駆除問題について、厳格に対処を。	

住民懇談会意見（部門別整理表）

【福祉文教専門部会】<福祉施策関係>

	北檜山区	大成区	瀬棚区
地域の話題・課題	<p>【老人クラブ】（高） ・老人クラブ活動は、全町一緒にやるのは難しい。</p>	<p>【老人クラブ】（高） ・老人クラブの加入率が減少し、活動もままならない。町と協力してがんばりたい。 ・段々と淋しさがつわり、今後の老人クラブの活動がどうなるのか心配。 ・70歳以上でも現役で働いている人が多く、老人クラブに加入しない。男性の会員が少ない。 ・老人クラブという名前が、加入を拒否させるのでは。 ・老人クラブへの補助金カットで、運営がままならない</p>	<p>【老人クラブ】（高） ・老人クラブの加入者が増えない。 ・地域ニーズに合った福祉活動（独居老人等々）が出来ずらい。 ・普段の生活で孤独感を感じている方が、老人クラブへ加入するのではないか。 ・動ける人が入会しないと、運営が難しい状況にある。 ・積極的に活動に参加する人材がほしい（町職員退職者の協力が無い。） ・老人クラブへの理解など行政の働きかけが必要。</p>
	<p>【高齢者対策】（高） ・年金だけの老人世帯は生活が大変なので、何か支援がないか。 ・合併しても財政的に苦しい状況であることは当然で、老人福祉施策も見直すべき。（温泉バスの運行、盛人のつどい） ・二葉会クラブが、男女にかかわらず考えて、町のためにつとめ、又町も良い案を考えてもらいたい。 ・何と云っても、仕事の事が一番の悩みです。 ・今の老人は幸せ。福祉政策に満足している。</p>	<p>【高齢者対策】（高） ・若者等活動人口が少ない中で、高齢者等が住み慣れた地域で、安心して暮らせる町づくりの構築。 ・70歳になりましたが、今はまだ元気で、嬉しい。もう十年ぐらい元気でいたいと思う ・老人に対する町のサービス内容が理解できていない。</p>	<p>【高齢者対策】（高） ・住み慣れた故郷で平安に過ごすためには、医療、保健、福祉、教育の分野で安心して暮らせる町づくりが望まれる。 ・一人暮らしの不安（核家族） ・サロン等の開催では、地域によって老人の参加が少ない。 ・都会と違い近所のつながりがすばらしい。（地域づくりの原点） ・地域、家族、行政（町内会、社協）の結びつきが必要。 ・町外に出た若者と地元の家族とのつながりも薄いのではないか。 ・ボランティアを募って事業を行っているが、行政の参加が少ない。（役場内の横の連携がない） ・昔と違って若い世代が高齢者を敬う心が薄れている。 ・旧瀬棚町では要介護認定率が低いのは保健活動がよかったからか。そうした活動が継続されるのか心配。（地）</p>
	<p>【除雪】（高） ・冬期間の除雪に困ってる。</p>	<p>【除雪】（高） ・除雪のボランティアを老人クラブで実施しているが、事故等が発生した場合の補償は。</p>	
		<p>【交通手段】（青） ・高齢化等により、北檜山・瀬棚方面に行く用事（病院受診、本庁への用）の為に車が無い。</p>	

地域としての解決策・アイデア・重点テーマ		<p>【老人クラブ】（高） ・財政が厳しい中で、老人クラブの活動を支援してほしい。 ・今後の老人クラブ活動は、少人数でも合併せず、このままで行ってほしい。 ・会員の加入。 ・老人クラブなどの補助金を削減しないでほしい。</p>	<p>【老人クラブ】（高） ・老人クラブで収入を得る活動を行う。（しいたけ、アスパラ栽培等）</p>
	<p>【高齢者の生きがいがづくり】（高） ・高齢者が町（市街地）に買物に出掛けた際に、休憩する場がないので、市街地の空家を利用するなど休憩所を作ってはどうか。（各地域にシルバーサロン） ・町民の交流が足りなく、パークゴルフなどに参加を。</p>	<p>【高齢者の生きがいがづくり】 ・老人の外出を促す仕事を与えて下さい。（高） ・仲間を作ること。（高） ・地域の子供達との交流を図りたい。（高） ・高齢者や子供が安心していられるような体制が望ましいと思います。（青） ・人と人が助け合い、豊かになってほしい、人の心も。（青）</p>	<p>【高齢者が暮らしやすい町づくり】（高） ・診療所の2人体制や高齢者の健康づくり事業など、助け合い支え合いの地域づくり、学習機会の創意ある提供が肝心。従来からの継続でなく創意ある事業展開を。 ・高齢者が安心して暮らせるよう、医療、福祉、地域の助け合いが必要だと思う。 ・地域福祉計画の作成。 ・医療体制の整備安定。安心して暮らせる町に人が寄って来る、従って町がよくなる。 ・老人の暮らしやすい町づくり ・住民が元気で明るくなる町、高齢者が多いので生涯役割を持てる町。（子）</p>
	<p>【高齢者の健康づくり】（教） ・高齢者の健康の管理。健康で病院にかからない健康づくりの推進。</p>	<p>【高齢者の健康づくり】（高） ・高齢者の健康づくり（散歩）をグループ化できないか。</p>	<p>【高齢者の健康づくり】（高） ・保健師の家庭訪問を充実させる。 ・元気なお年寄りが多ければ介護保険料も国保税も安くなるので、元気なお年寄りづくりをやってほしい。（地）</p>
	<p>【高齢者に優しい町づくり】（商） ・「お年寄りにやさしい町づくり」を目指して欲しい。</p>		<p>【高齢者に優しい町づくり】（地） ・町営住宅のトイレを洋式に。</p>
	<p>【高齢者施設】（農） ・高齢者に対応した介護施設等の建設。</p>		
	<p>【福祉バス等】（高） ・患者バスは必要だが、温泉バスは廃止していいのでは。</p>	<p>【福祉バスの継続】（高） ・温泉送迎バスは単一老人クラブで運営しているが、人数を見ながら合同で行ってもいいのでは。 ・福祉バスは、老人の声がけ運動へのつながりもあり、今後、是非とも運行継続を望む。 ・現在行っている福祉バスの、あわび山荘行の運行継続。 ・町内の福祉バスの有効利用。 【交通の確保】（高） ・1日3回程度、大成～北檜山間のバス運行してはどうか。 ・北檜山区・瀬棚区・大成区を巡回する、人に優しい（障害のある方でも一人で乗れる）を交通手段を。</p>	
<p>【地域での高齢者支援】 ・社会福祉協議会の充実強化。（地） ・趣味の仲間、地域の仲間、ボランティアなど健康作りにはげみ、歩こう健康に。（高） ・家でできることは自分たち仲間と一緒に考え、行動をおこし楽しみ、幸をみつけましょう。（高） ・自分達で出来ることは自分達で（ボランティア）（地）</p>	<p>【地域での高齢者支援】（高） ・町職員を高齢者の支援やアドバイザー的なものとして人員配置してはどうか。 ・町職員の、庁舎より外に出ることを努力を。 ・老人問題は、以外と難しいので、専門委員を作ることが大切では。 ・小地域単位活動が特に大事になる。 ・地域住民と各種団体が協働して、地域活動にどう取り組</p>	<p>【地域での高齢者支援】（地） ・高齢化、少子化社会に対応した対策必要。（地） ・なるべくみんなの中に出て来てもらうように、周りをよくして行く。（地） ・一人暮らしの人のところは雪かきをしてあげたい。（地） ・老人と家族、地域、行政、社協等の連携。（高） ・地域のネットワーク（町内会単位）が大事。近所付き合い。（小地域ネットワーク事業の一層の推進）（高）</p>	

	むか。 ・冬期間は、老人にとって交通事故が一番危険なので、1ヶ月に1回くらい講習をする事。 ・高齢者の面倒を見てくれる事をお願いします。	・1人暮らしや高齢者夫婦世帯だけでなく、若い人と暮らしている老人にも同じに行政の援助を。(高) ・ボランティアの推進。(高) ・活動を広く理解してもらおう。(高)
【敬老会の見直し】(高) ・より一層見直しを図り、節減に努めていただきたい。 ・敬老の祝年齢を2、3歳上げて。 ・敬老会と盛人の集いの両方は意味無いと思うので、敬老会だけでいいのではないか？ ・敬老会の祝い品はいらぬのではないか。	【あわび山荘の活用】(高) ・温泉の利用について、地域ごとにしてもらう。 ・パークゴルフ場を有効活用し、老人クラブへの勧誘やあわび山荘の活性化を図ってはどうか。 ・あわび山荘も、赤字解消の何らかの策やサービスを考えては・・・。 ・山荘職員のバスに便乗して送迎してはどうか。 ・送迎、食事、温泉のセットを考えてはどうか。	

住民懇談会意見(部門別整理表)

【福祉文教専門部会】<子育て関係>

	北檜山区	大成区	瀬棚区
地域の話題・課題		【保育園】(子) ・保育園は子どもの体調に敏感すぎる。すぐに迎えに来させる連絡がある。 ・早期退園時に迎えに行くと、玄関に子ども一人をおいていることがある。 ・子どもが困っても、先生に言えない状況がある。 ・感染症が完治しないうちに登園させている。医師との連携を取っては。 ・園児の前で園長が職員をしかるのはやめてもらいたい。教育上問題がある。 ・先生との意見交換の場がない。	【保育所】(子) ・合併後、保育料が値上がりした。 ・合併後、保育時間が1分でも延びたら、延長保育料を請求される。 ・保育所の入所申請の対応や基準(入所選考)が、バラバラである。 ・先生方に覇気がない。 ・保育士と父母の話し合いがない。 ・子どもの扱いが事務的すぎる。先生の質を向上させてほしい。
		【子育て環境づくり】(子) ・塾など、子どもの習い事をする種類が少ない。 ・働く場所がなく、職種を選べない。 ・近くに働き場がほしい。 ・安心して働けない。 ・近くに小児科がない。 ・病院がない。 ・合併して、地理的に大成区の距離を感じ、交流が少ない。他の区がよくわからない。	【子育て環境づくり】(子) ・子供やお年寄り、弱者が、安心して住み続けることが出来る環境づくり。 ・犯罪は、都会も田舎も関係がない、不安である。 ・子育て支援センターや仲良しルームで、仲間やつながりが形成されている。 ・子どもの減少により、行事(カルタ大会等)も減少し、子ども達の交流の行事がない。 ・中学生の小学生に対する悪戯が気になる。子供同志の話でも、恐ろしい会話を聞いて来る。小学校低学年の子を探している。本人は何を言っているのか、聞いてほしい。
		【子育て活動】(子) ・ボランティアは参加する人が限られてしまう。	【子育て活動】(子) ・活動に参加する人が少なくなった。親も参加したくないのでは。

地域としての解決策・アイデア・重点テーマ		【子育ての視点に立った保育園】(子) ・給食も、子どもに合わせて残してもOKにしてもらえる。保育園嫌いにならずにすみます。 ・多少、子どもの体調が悪くとも、面倒を見てくれたり、夜間保育等があればいいと思う。 ・少しのカゼ、熱は様子を見ながら、通常時間まで見てほしい。 ・園庭外での保育活動が少ない。親の協力を得てはどうか。 ・保育所の行事がある日は、早期退園となるが、定時まで子供を預かってほしい。 ・早期保育、延長保育の当日申請も気安くできるよう、臨機応変な対応をお願いしたい。	【子育ての視点に立った保育所】(子) ・保育所の所長制をやめる。 ・事務関係が保育所に入っているので、クレームを言っても意味がない。 ・民生委員の自覚を。 ・3区の保育士の移動をし、年齢層を幅広く。 ・もっと暖かみのある保育をしてほしい。 ・保育士の数に見合った園児数(定員数)にすればよいのではないか。きめ細かい保育になっていない。 ・保育所への入所条件を明確にしてほしい。3区を統一してほしい。 ・病児保育の確保。
		【学童保育所】(子) ・学童保育を実施してほしい。 ・学童保育があれば、子供も下校後、安心できる。 ・学童保育等、もっと子供達のために協力してほしい。少年団、太鼓、神楽など。	【学童保育所】(子) ・学童保育の終了時間の見直しを、検討してほしい。
		【子育て環境づくり】(子) ・他の町や先生方でもよいので、習い事の指導をして欲しい。 ・子どもと高齢者との交流もしてはどうか。 ・子どもを総合的に診られる医師が必要。 ・子供を預ける場所(保育園以外)がほしい。預ける場所をつくれれば働く場所もおのずと出来るのでは？ ・子供の数を増やせなければ、将来何も期待ができない。そのためにも、資金の補助などがあれば、もっと育てやすい環境になると思う。 ・安心して働くためにも、住みよく、安全な地域にして頂きたいです。 ・働く場所を多くしてほしい。 ・子供が自由に遊べる場所がほしい。	【子育て環境づくり】(子) ・子育てをする親の教育が必要ではないか。講演等を行い、勉強の場があればよい。 ・高齢者に一時的に子どもをあずけるような組織作りをしては。老人クラブ等との交流の場を設定してはどうか。
		【子ども同士の交流】(子) ・三つの区の交流をもっと行ってもよいのでは。安心して、子供を育てられる町に。	【子ども同士の交流】(子) ・子ども達同士の交流の場がほしい、宿泊研修など。 ・子ども達を山や川で遊ばせたい。自分たちで取り組んでどうか、行事などを利用してはどうか、ノウハウのある方を活用してはどうか。

住民懇談会意見（部門別整理表）

【福祉文教専門部会】<保健医療関係>

	北檜山区	大成区	瀬棚区
地域 の 話 題 ・ 課 題	<p>【医療費の負担】（高）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療増負担で困る。 	<p>【医療費の負担】（高）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療費負担増の問題。 	
	<p>【将来の医療体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院の問題。（高） ・北檜山区は、医療の面で恵まれている。（高） ・今後の医療体制整備について、住民が納得する整備を進めてほしい。（地） ・合併されたが、各区の病院等が残されていて、その財政負担と合せ、各区民の医療に対する保障の問題。（教） ・1つの町にたくさん病院がありすぎる。（青） 	<p>【将来の医療体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院が今後、診療所になるとの事で心配。（高） ・医療問題をどの様にするのか、どの様に成るのか。（高） ・病院が無くなったら困る（大成区）（青） ・大成区から北檜山区への通院が大変。（青） 	<p>【将来の医療体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に密着した、安心できる医療の充実を。（高） ・診療所問題（夜間、救急等）（高） ・夜間は北檜山国保へ行くが、普段診療してくれている医師の方が、安心感がある。 ・合併により最もダメージを受けたのは瀬棚区民だろう、と考える。それは、診療所の問題からだろう。（地） ・医療問題にゆれているためか、常に不安感がつきまとう。（青） ・合併後診療所の体制が変わり、人の出入りが減少した。（青） ・医療問題等で町全体が暗い雰囲気になっている。（青） ・瀬棚区は特に課題になっている。（青）

地域 と し て の 解 決 策 ・ ア イ デ ィ ア ・ 重 点 テ ィ マ	<p>【医師の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児科の先生が必要。月に1回、巡回診療があるが、週1回とか来て頂けないでしょうか？（高）（青） ・小児科医師の不足が問題視されているが、町で支援し資格取得の支援をしてはどうか。自前による医師の確保も可能となる。（青） ・大きな病院と連携することにより適切な診断が受けられるので、24時間先生がいなくても安心。（高） ・医師の確保のため、各種機関との連携を図っては？（地） ・人脈や情報のやりとりで、いくらでも引っ張って来れるのでは？（教） 		<p>【医師の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療所の医師2人体制を早急に。（高） ・小児科医療の確保（子）
	<p>【医療体制の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各区の病院は施設自体が老朽化している。国保病院の診療所への転換や職員数等も考えて、医療機関は施設数を減らしたり、コンパクトにすべきである。（地） ・中核病院との連携（八雲等）を強化し、またサブ的な中核病院をもってくる。（地） ・医療機関の統廃合を考える。それに見合う輸送体制の確保、医師の確保、転院先の確保等を明確にする。（教） ・3区の病院の統合。地理的に北檜山と瀬棚は統合してもよいのでは。（青） ・病院の統合後、施設を他の目的に再利用しては。（青） ・大きな総合病院を建ててほしい。（青） 	<p>【医療体制の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、診療所になっても、病棟10床以上に。（高） ・医療体制、老人は心配している。安心してかかれるような、体制にしてもらいたい。（高） ・医療・教育・福祉の充実（教） ・今後の大成区の医療がどうなるのか、心配です。（青） 	<p>【医療体制の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療環境の充実。ただ診療所、病院があるだけでなく、安心してかかることができる医療をせたな町に確立させるため、どんな医療を望んでいるのかを、しっかり吸い上げていけるような機関を設けてほしい。（子） ・瀬棚診療所の体制について、対応を急いで欲しい。（地）（青） ・地区地区での医療の充実を設ける必要がある。安心して住めるまちづくり。（地） ・医療問題を優先的に解決してほしい。（商）
	<p>【医療施設運営の充実】（高）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬棚・大成区の住民が、医療問題では深刻になっていることが判った。町内の民間病院でも送迎バスを運行しているが町立病院でも1、2年位、送迎バスを運行してはどうか、週2回位。 ・小児科医等、2区の町に振り分けて診療してみても？。（大成区は別として）バス等を使用して送迎したら。（青） ・診療時間を延長してもらいたい。（青） ・看護師の転勤制度を導入してもらいたい。長く同じ職場で勤務していると、仕事に対する緊張感が欠如し、患者や来院者に対する対応や勤務態度が悪い。（青） ・ドクターヘリの活用（地） ・瀬棚区の診療所の意見箱付近に防犯カメラが設置しており、投函しづらい。移動をお願いしたい。（青） 		<p>【医療施設運営の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心してその町に住むことができるのは、第一に医療の充実。高齢になると、健康の維持のためには日頃の医療の充実が一層望まれる。当区の診療所には、折角入院の出来る施設があるので、少し位の方の入院が出来る様な病院の充実を計って行くべき。（高） ・診療所の夜間診療体制、入院体制。（高）（子）（青） ・地域に密着した安心できる医療の充実（高） ・診療所を24時間体制にしてほしい。（子）
	<p>【予防施策の充実】（青）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域的な要素を生かした予防策を考えられないだろうか。 		<p>【予防施策の充実】（高）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予防保健の面から、気軽に参加できる健康事業の実施。 ・医療の充実を町の課題とするときは、地域医療を最も大切に（予防医療も含めて）
	<p>【医療と高齢者】（高）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何よりも健康が第一。安心してかかれる病院でありますことを願います。 ・高齢者の生きがい対策。 	<p>【健康づくり】（地）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民、等しく元気であり、明るく生きる町を作りたい。 ・パークゴルフ場の有効活用。あわび山荘と連携し活性化を図ってはどうか。 ・既存の施設を利用して、体力づくりの器具を設置してはどうか。 	<p>【保健医療の充実】（子）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健、医療、福祉の充実。
		<p>【乳幼児検診】（子）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児検診を北檜山区で実施しているが、北檜山時間で行っているため、時間が合わない。検診時間帯の見直しを行っている。 	

住民懇談会意見（部門別整理表）

【福祉文教専門部会】<教育関係>

	北檜山区	大成区	瀬棚区
地域の話題・課題	【子どもの安全の確保】（教） ・子どもの命が脅かされている全国的状況が、せたな町で起きないという確証はない。健全育成と合せ命と健康を守る課題が山積している。		
	【施設の活用】（青） ・廃校や空き施設の利用。	【学校施設の活用】（教） ・学校開放施設の充実を求める声が多い。 ・学校施設の開放が統一されていない。 ・各グラウンドの状態が悪い ・冬期の管理で、燃料費の削減、管理者がいない、ストーブの購入も厳しい。 ・利用頻度と管理運営費用。 ・区によって施設の利用料金が違う。 【施設の老朽化】（教） ・中心的建造物の老朽化。 ・施設の老朽化に対する対応。	
		【給食センター】（青） ・学校給食センターが大成区よりなくなると困る	
		【地域に根ざした教育】（青） ・町外から通っている先生が多い。地元根ざさず、地域との交流もない。	
			【学校の存続】（子） ・檜山北高校は将来どうなるのか、不安。
	【文化団体】（教） ・文化協会が合併後一本化の話があったが、今現在はその会議はなく、これからの計画に不安がある。		【文化団体】（教） ・文化団体は、合併に向け事前に協議を行っていたが、未だ合併できない状態にある。 ・補助金問題で、活動もままならない。
		【文化活動】（青） ・文化的音楽的の刺激に欠ける様な気がする。	【文化活動】（教） ・文化的な面では、辺地に住んでいても、程度の高い文化にも触れてみたいと思っている人も多い。 ・文化への町民の理解が薄い。
		【女性団体】（青） ・合併したが、総会を行っただけで活動は行っていない。 ・全区対象のイベントを行いたい、話は進んでいない。 【婦人会活動】（青） ・婦人会員数の減少。高齢化、若い人が入らない。若い人は団体活動に興味がない。 ・会員も仕事を持っている方が多いので、日昼の会議や活動への参加が難しい。 ・婦人は子育てが終わってから入会するというイメージが強いのでは。 【敬老会】（青） ・お手伝いの人が足りない。準備、当日の負担が大きい。 ・余興も予算もなく、自分たちで行っている。 ・携わる人達も大変と思いますが、難しいです。	【女性団体】（青） ・各団体に対する補助がない。 ・高齢化が進み、特に役員に負担がかかっている。 ・年々会員が減少してきている。
	【スポーツ活動の衰退】（教） ・人口減、特に若者の減少により、スポーツ活動が衰退している。	【スポーツ活動の衰退】（教） ・少子高齢化 ・自然を生かすことが出来ない現状。 ・少年団の合併も検討に入れているが、地域性があり時間がかかる。 ・指導者、企画立案者。	
	【合併による組織のあり方】（教） ・合併協議会の中で議論すべきことが、なされていなかった。 ・各団体の整備、統合がなされていない。 ・各団体に対する説明が合併前と後とは異なっている。合併前は3年を目途に統合であったが。		
【その他】（教） ・社会教育計画の内容を全く知らない、関係団体まで周知されていない。 ・スクールバスの活用方法が各区で統一されていない。			

【子どもの安全の確保】 ・児童生徒の非行防止のため、各団体との連携を図ってほしい。（地） ・子どもの命と健康を守るための、住民参加の体制づくり。危険な状況から子どもを守る『かけこみ家』の確保と体制づくり。（教）	【大成高校の活用】 ・高校を一階は病院、二階は憩いの場であってほしい。（青） ・大成高校の利用は病院を中心に考えて欲しい。（商） ・町民の交流の場になるとよい。（青）（商） ・大成高校の施設を利用しての区民講座、映画会の開催などやスポーツ大会の開催などで、区民交流を図る。（教）	【学校教育】（教） ・国主導の管理的教育ではなく、自由な教育、民間やPTAの教育チェックも必要では。（家庭教育も重要）
--	--	---

【歴史資料・文化財の保存】
 ・特に歴史について、北檜山区より他区へ発信して行くべき。リーダーシップを発揮せよ。(地)
 ・民間的団体 NPO を、歴史について整理が必要。50 周年のイベントで、芸能は団体に任せ実施したが、歴史は団体が無く、実施しなかった。合併で資料散逸することは大変なこと。(地)
 ・北檜山名誉町民である平氏の銅像を復元してほしい。(教)
 ・遺跡を保護してほしい。(教)

【伝統を生かした町づくり】(青)
 ・各区の伝統を生かした町づくりをしてほしい。久遠太鼓、久遠神楽の存続、わっためがしてフェスティバルなど。

【組織の一体化】(教)
 ・スポーツ、文化とも指導者をこの町に根づかせて欲しい。
 ・各種諸団体、組織の一本化を町主導でより一層連帯意識の醸成を図っていただきたい。そのことが住民の連帯意識の高場と予算の重点的、効率的な使用ができる。
 ・組織(文化協会、体育協会、連合少年団等)の早期の合併・広域的融合が必要で、三区の地域のエゴを取り除いて、早く組織の確立をしないと、活動の停滞となる。特に少年団組織などは、子供がかわいそうである。
 ・スポーツ少年団も一本化しレベルアップを図っては。

【生涯教育の充実】(教)
 ・生涯教育のできる場が必要。既存の施設を利用しては。
 ・人口の減少による「過疎化」など町の現状を踏まえると、今ある物をどう活用するかを考え、根本的な問題が何なのかを見つめ直す必要がある。
 ・この街をどうしていきたいのか、今、何がしたいのかを可能にするためのシステムを構築することを優先すべき。
 ・町の財政に頼ることは根本的解決にはつながらない。
 ・生涯教育を中心とした区民センターを作り、区民全体(子供から高齢者まで全て)が立ち寄れる場を持ち、それぞれの分野で、自らの手で創るまちづくりを実現する。(例えば、体育・文化・ボランティア・シルバー人材、公共娯楽等考え方を柔軟に持てば何でも出発点に立つことは出来る。展望を持った活気を収益利用と意識転換を図ったまちづくりが解決策の気がする。)
 ・ボランティア活動も、老人宅の雪かき等などはよいのではないだろうか。(青)
 ・誰でも出来るボランティアの養成を行う。(青)

【人材育成】(教)
 ・指導者(コーチ・マネージャー・アドバイザー等)の人材の発掘と確保が重要である。

【高齢者活動】(高)
 ・寿大学は、もっと気軽に参加できる内容(学習計画)を提示して実施することが大切。
【女性団体活動】(青)
 ・各区毎、若い会員さんがほしい。何かの際は、都合の出来る方に協力をいただく。
【人材育成】(青)
 ・新町女連協が設立しました。これから少しずつでも、各区女性会の活動を基礎としながら、全体として新町女連協での動きにも期待をして、みんなで助け合いながら活動を。
 ・一人一人のモラルの低下が問題。教育の問題?
 ・人格形成。

【施設の有効活用】
 ・もっと広域的な施設の利用法等を考えるべき。例えばスキー場やナイター野球施設等。(教)
 ・廃校などの施設の再利用の検討を。(教)(青)
 ・必要のない施設は、転売も考えてはどうか。(教)
 ・各施設、維持管理に経費を要するのであれば、民間に委託してはどうか。(教)
 ・パークゴルフ場にキツネのフンが落ちていて、衛生上管理が必要である。(教)
 ・既存施設の有効利用。(教)

【施設の整備・利用】(教)
 ・様々な大会が開ける様なグラウンドの整備を望む
 ・プールは一年中利用出来る温水プールにしてほしい。
 ・大成高校体育館は、今後の利用方法、管理を今から明確にしてほしい。
 ・スキー場を充実してほしい、道路の拡大、駐車場、リフト、管理小屋など。
 ・利用しやすい、利用が活性化による体制づくり。
 ・助成金の分配を均等にして、施設の整備充実を望む。町の活性化につながる活動をしていかなければならない。
 ・各区、同じスポーツをやるにも条件が違う、平等にしてほしい。
 ・老朽化している施設は、早目の修理や対応をし、長く利用出来るような対応をするべき。
 ・今ある建物を含めた、施設の再生を、強く望む。
 ・旧二股小、左股小など他区の公共施設がどのように活用できるのか、有効活用。

【文化の振興】(教)
 ・まちづくりは、経済の活性化に片寄りがちであるが、「文化の盛んな町」も是非重点に置いてほしい。
 ・文化に触れる機会づくりが大事。
 ・旧町時代、それぞれ少ない予算で小規模に行っていた文化的事業を、合併したことにより、もっと大きな内容で開催することが出来、高度の文化にも接することが出来るのではないかと。
 ・助成金の減により、大きな講演が行えない、文化事業は一本化させる。

【住民の交流活動】(教)
 ・区ごとに行っている大会等は、出来るだけ一つにして、行ってほしい。

【文化活動の充実】(青)
 ・年に何回か、コンサートなどを企画して欲しい。(てっくいランドのステージを利用して、野外コンサートとか)

【住民の交流活動】(青)
 ・教育委員会主催のネットワーク交流事業を大事にしたい。

【住民の交流活動】(教)
 ・せたな町全体として、町民運動会などの交流の場を作ってはどうか。
 ・文化祭、芸能発表会は3区合同で行い、各区持ち回りとしてはどうか。

【町の宣言】(教)
 ・スポーツと文化の町宣言を残してほしい。

住民懇談会意見（部門別整理表）

【産業経済専門部会】<農林業関係>

	北檜山区	大成区	瀬棚区
地域の話題・課題	<p>【農業の実態】（農）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国が取ってきた自由化、経営規模拡大の推進による市場価格の下落、設備投資の負担増なども、後継者不足に拍車をかけているのではないかと懸念されている。 ・人口減少。 ・後継者不足。 ・花嫁不足。 ・高齢化。 ・遊休農地増加。 ・規模拡大による人手不足。 ・一次産業に携わる人たちの生活水準の低下。 		<p>【農業・酪農】（青）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛を増やしたい。 ・アスパラは手間がかかり大変。
			<p>【農協女性部の活動】（青）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員数が多い。（53名。20代～80代） ・仕事をしながらのイベント活動は厳しい。 ・直売所（野菜）の継続は大変。週1回程度の販売では受けられない。
			<p>【その他】（子）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の野菜を購入する場がない。
	<p>【林業の実態】（農）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業は、国・道・町予算の減少により、組合経営に苦慮している。 ・国・道・町の財政難による事業の減少。 ・森林のもつ重要な役割は、みなさん知っているが、それに対して個人でどのように行動してよいのか、分からないのではないかと懸念されている。 ・木の商品化は難しい。 ・林業は長期施策で不在が多く、境界もはっきりしていないので、売買等も大変である。 ・雇用が安定していないので、理解されにくい。高齢化であり収入がとぼしい。 		

地域としての解決策・アイデア・重点テーマ	<p>【中長期的な計画づくり】（農）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中長期的な不動産の計画を策定するよう、十分な協議が必要。 ・合併1年目であるが、さらに広域的に考えて進めて行く必要がある。 ・絵に描いた餅でなく、現実的な指導や補助事業を。 		
	<p>【中長期的な農業振興】（農）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各個のビジョンを生かせる（バックアップ）農政の確立。 ・何事も中・長期的考え、積み重ねが大切。 ・国の施策の対象とならない個人経営者を一元化してはどうか。その場合、事務的な人員派遣や固定資産の免除を検討しては。 ・大胆な補助事業の導入。 		
	<p>【農業振興に対する行政の支援】（農）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目先の市場価格ばかりに意識が行き、新作物でもすぐ頓挫するケースが多い。将来を見すえ継続することが大事なので、町のバックアップ体制も必要。 ・各種の補助事業の内容の再検討及び有効的な事業の確率のための協力及びバックアップ体制の整備。 ・町としての基本構想の明確化。 ・せたな町は何の町にするのか。一次産業の町にするなら、もっと補助金等支援を。 ・町の支援（財政支援） 		
	<p>【所得補償】（農）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業経営の所得確保。 ・所得UPのため、所得補償政策。 		
	<p>【特産品の開発、販売促進】（農）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物の特産品開発と販売ルートの確保。 ・地産の物を生かし、付加価値を高めて行く事が大切。 ・ラジオ・テレビを利用し、特産品を広くアピールする。 ・特産品は、町とJAが共同して指導するなど、リーダーシップを取ることが必要。 		<p>【特産品と食】（青）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスパラなどの野菜を、仕事のない人に作ってもらうことはできないか？（大葉のように） ・特産品を使った食堂。
	<p>【農業者の自立】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来的には個々の自意識改革が必要。（農） ・何をやるにしても、町の支援が必要という考えを見直す必要がある。特に農業は。（農） ・農業も、自分が作った物は自分で売る時代だと思ふ。小さな事からでも始めている。（青） 		
	<p>【中長期的な林業振興】（農）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大成区のスギは、道南から本州で需要があるが、流通、市場の問題もあり、道南スギが本州では秋田杉など名前が変わって出回っている。時間がかかるが地域のブランド名で供給できる販売ルートが必要。 		

地域としての解決策・アイデア・重点テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・100円の苗木が400年後には1億円の価値ができる場合も実際にはある。目先でなく長期的な見方ができるような意識改革も必要。 ・森林を一般（都市圏）ヘレンタル（開放）し、森林でゆとりの生活をしてもらう。 ・森林など木に対する理解を広めるためにも、小学校で出前教室を開催してはどうか。 ・山林の境界を明確にする場合など、町が助成することで売買の推進が図られると思う。 		
	<p>【一次産業の振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一次産業中心の町づくりを。（農）（商） ・一次産業の復活。（農） ・農林業を中心に考えて行く事。（農） ・一次産業に携わる人たちへの優遇措置（所得助成等）（農） ・1次産業の安定した経営の基盤づくりが必要。（農） ・事業拡大の伸び悩み、補助金の確保が必要である。（農） ・森林、農業、水産は密接な関係にあることを行政がPRしてはどうか。（農） 		
	<p>【加工場の連携・充実】（農）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木工場の建設は無理なので、他町村にある木工場を取り入れ、広域的連携が必要。 ・第3セクターみたいな加工場を建設してはどうか。せたな町の農林水の資源を抱き合わせて、加工品を販売する。例えば、せたなの芋と魚介類を利用したシーフードコロッケや加工品の箱は、せたな産の木材を利用した木箱にするなど。雇用の増大ともなる。 		
	<p>【雇用の確保】（農）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一次産業全体、又は町民も含め安定した雇用の場をつくる。加工場等の誘致、又は建築を目指す。農業、漁業、林業等が一体で取り組む。 		
	<p>【人材の確保、活用】（農）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材バンク等（コントラ制度含）の確立。 ・若者の交流の場を設ける。 		
	<p>【町民自らのアイデア】（農）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民自らのアイデアが必要。プロジェクトチームを作り、事業に移していく。 		
			<p>【安心な食べ物】（子）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の野菜等が売れる、買える場所があればいい。地元で消費できるような体制。
			<p>【農協の相互交流】（青）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町に2つの農協があるので、もう少し交流が必要。

住民懇談会意見（部門別整理表）

【産業経済専門部会】<水産業関係>

	北檜山区	大成区	瀬棚区（北檜山区）
地域の話題・課題		【漁業経営の実態】（水） ・漁期は6月から11月がいいところ。漁のない時期は出稼ぎに行っている。 ・原油の価格上昇により、重油代の負担も大きい。 ・密漁の被害がひどい。特に暴力団関係者。 ・一本釣漁業でアオサメの被害がひどい。漁具が破損する。 ・サクラマス <small>の</small> 放流が少ない。放流しても川で産卵しない。ダムに原因？ ・河川の改修により、海の栄養が低くなっている。 ・ウニの値段も下落し、収入が少ない。	【漁業経営の実態】（水） ・ナマコが2～3年前より高騰し、着業者数も多くなり、また漁獲量、金額も上昇の状態となっているが、資源の現状維持を願っている。 ・イカ釣り漁業は燃料の消費が大きく、昨年より燃油の高騰が続き、平成17年春、1㊦50円が1㊦74円となっており、採算割れの状態です。町の支援をお願いしたい。 ・最近プロの密猟者が出没し、漁業者だけでは対応しきれない状況。 ・新たな漁業振興に対し、どれだけ補助してくれるか不安。
		【後継者問題】（水） ・後継者不足である。漁師は高齢化している。	【後継者問題】（水） ・漁業者の高齢化を考えると、10年計画は長い。
		【水産加工品】（水） ・札幌の生協で広告をしたら、評判がいい。 ・スルメイカの塩辛は賞味期限の管理が大変である。 ・加工品の価格は、道内外で差を付けるのは難しい。知名度があり、値上げは難しい。 ・タコチーズは、機械で特許を取っているが、原料が少ない。（ヤナギダコの足を使用、刺し網にかかる程度。）	
		【組合の状況】（水） ・合併してから大分時間がたったが、昔の組合と変わらない状況である。水産加工物の量や漁業権の許可数など。	
		【その他】（青） ・久遠漁港が整備され散歩するには適しているが、外灯が半分消されている ・海の側にいて、海産物を買えない。	【港湾整備】（水） ・内港に余波が入り係船しても安心できない状態。 ・マリントウン（静穏海域）に砂がたまり、磯場がなくなる状態にある。ナマコ漁場もなくなっている。

地域としての解決策・アイデア・重点テーマ		【特色ある産業振興】（地） ・特色ある産業づくり。3区ごとに重点的な政策を。 ・植林をして緑豊かな町づくりを進めてほしい。森づくりは、自然を守り海を豊に育てると思う。	【特色ある地域づくり】 ・海洋を活かした町づくりをしてはどうか。（高）（地） ・せたな町は、世界に通じる『海』海洋がある。今、漁業者の経済その他は中々楽ではないが、将来、人間が生きて行く上で最も大切なのは、水産業を振興発展させる事。（高） ・安全な食べ物に力を入れる。自然な食べ物。（高） ・合併して農業が主となったが、漁業にも力を入れるべき。（地）
		【育てる漁業の推進】 ・今年からウニの横移植を実施している。（水） ・クロソイの放流を毎年実施している。（水） ・ナマコの商品価値が高いので、生態調査しながら行いたい。（水） ・日本海のナマコは高級品。今は乱獲状態である。（水） ・サケの二次飼育施設建設による資源増大。（水） ・前浜振興で種苗を育成してはどうか。昔はアワビ、エゾメバル、ヒラメがよく捕れた。（商） ・この地区は水産業が主であり、漁業資源の増殖が大事。（地） ・過去に養殖漁業を幾度も実施して来た。現在アワビ養殖が継続されているが、今後、施設等の管理に費用がかかるので、施設のいらぬ養殖漁業を考えては。（地） ・漁場を区画して、自己管理で放流による養殖漁業を検討しては。（地）	【育てる漁業の推進】（水） ・ナマコの資源増大、経営が成り立つまでの支援を願いたい。 ・ナマコの生産は、漁業者と町だけでなく、栽培公社等との連携を密にしなければならない。 ・静穏域（漁港内利用）は、ホンダワラが環境によい。各区の施設も有効利用してやりたい。国内外に向けての販売が可能。漁師も努力する。 ・ホンダワラの育成は、大成で実験済みである。 ・ホンダワラの増成は、ナマコだけでなく、ハタハタ等他の魚種の増につなげる。 ・バフウニ（ガゼ）の種苗放流事業の増大。 ・冬期間中、漁家の冬の副収入の安定確保のため、日本海の荒波育ちのウップ類海苔の事業化が望まれる。 ・瀬棚の海苔は知名度が高い。冬の収入として増大したい。（管内8支所の中で瀬棚が一番多い）
			【サケの二次飼育地の増設】（水） ・北檜山区良瑠石川のサケの回帰状況が顕著に現れている。自然河川を利用し、自然孵化をさせ、資源の増大を図るためにもサケの二次飼育地の増設により大きな効果が期待。
		【後継者問題】（水） ・育てる漁業があれば、若者もやるのではないかと。貝取潤は久遠に比べ縄や養殖もしているので、多少若者がいる。	
		【漁港の活用】（教） ・久遠漁港はプレジャーボート利用可能なのに、ヨットディングキーは不可なのは何か？漁港の解放を。 ・宮野漁港など行政特区として活用していく方向で進めてもらいたい。	【港湾の整備】（水） ・瀬棚港内に消波ブロックの増設が必要。 ・静穏域の確保のため、（内港）外防波堤の延長を。 ・マリントウン（静穏域）の浚渫が必要。 【生産基盤の整備】（水） ・組合の冷凍施設が老朽化し、可動が悪いので新設が急がれる。市場に出荷するのに鮮度が下がり、価格が下がる。活魚水槽を増設と併せ、併設する市場機能の充実を。

	【水産資源の保護】（水） ・アオサメを退治する方法はないか、電気ショック機の購入は。	【密漁の監視】（水） ・資源を守ることも大事である。 ・密漁漁業の監視。密漁は組織化しており、暴力団関係者も多いので、専門の警備員を配置してはどうか。
	【水産加工品のPR】（水） ・スルメイカの塩辛など地域のブランドとしてPR。	

住民懇談会意見（部門別整理表）

【産業経済専門部会】<商工観光関係>

	北檜山区	大成区	瀬棚区	
地域の話題・課題	<p>【商工業の実態】（商）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北檜山区は日常雑貨類は地元消費されているが、その他の家電、衣料類は町外に消費者が流出している。 ・大型店舗が参入すると消費者が地元店舗から流出する懸念がある。 ・消費者流出の現状と大型店舗への対策。 ・空き店舗問題 ・今後、空き店舗は増加すると思う。 <p>【産業振興】（青）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹産業に希望が欲しい。5年先10年先を考えると淋しい。 	<p>【商工業の実態】（商）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大成区は、各地区に人口がばらついており、中心部に密集していない。 ・人口減で、商店の需要が減って来ている。そのため、仕入れの量も少なく、単価などの対応も限界に来ている。地域住民から物価が高い、物が無いと言われる。（悪循環） ・外部への消費が流れている。益々、商店関係が住民に対応出来なくなる。 ・他町から客を引き込めない。 ・浜であがった新鮮なものが町民に消費されない。 <p>【産業振興】（教）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹産業（漁業の縮小）の衰退。 	<p>【商工業の実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民宿、飲食業を含む商工業全体が、低迷している。（商） ・地元商工業者の利用を心がけてほしい。（商） ・商店街の活性化。（青） ・商店街の空洞化。（青） ・空き店舗が目立ち、大通りの印象が悪い。（青） 	
	<p>【後継者問題】（青）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人たちの出会いの場をどのようにしたらよいか。 ・現実として、今、自分の子どもに商店の後継者にはなっていない。先が見えない状態である。 ・町外から戻って後継者となったことは後悔していないが、現状を見るとこんなはずではという思いはある。 ・小さな地区では、次の新生児の誕生までに20年も間が空いたこともある。（若者の結婚意識がない） ・少子化。 	<p>【後継者問題】（商）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後継者がいない。ほとんどの店は、今の代で終わりでは。 ・危機感を通り越し、あきらめになっている。 ・商店の将来が見えない。 ・加工業者が育たない。 <p>・少子化・高齢化</p>	<p>【高齢化、後継者】（青）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口が減っているのに、商店の売り上げもなく、後を継がせる事が出来ない。 ・過疎になって行くのが、話題になります。 ・後継者問題。当事者の意識が薄い。 ・高齢化が進んでいる。 	
	<p>【商工会】（商）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会の合併後の運営不安。 ・商工会は来年合併するが、町の財政難により補助金カットで運営が苦しくなる。 ・商工会の財政面への補助の安定化（合併にあたって）。 ・後継者問題。 	<p>【商工会】（商）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会は、現段階で合併作業は順調である。 ・商工会の補助金カットは大変厳しい。一律カットではなく実情を考慮してほしい。 ・駐車場などのスペースの土地がない。 		
	<p>【商工会青年部の活動】（青）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会青年部の部員減少。 ・部員の減少により行事やイベントが今まで同様にやるのが大変。各区のイベントに手伝いで参加するのも困難。 		<p>【商工会青年部の活動】（青）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員数が少ない。（12名） ・団体活動に興味を示さない人が多い。 ・イベントに参加する人数が少ない。 ・合併後も、各支部ごとに活動する。 	
	<p>【青年部の交流】（青）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3区が集まり会議をもっても、お互いを知らないで、なかなか意見が活発に出ない。 ・交流がないので、お互いの行事に手伝いで参加しても難しいのでは。 ・会議の交流会の場でも、区ごとに集まってしまう交流がなかった。 			
			<p>【商工会女性部の活動】（青）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店を運営しているので、イベントへの参加が難しい。 ・後継者が少ない ・来年は合併になるが、各区のイベントの存続が不安である。 	<p>【商工会女性部の活動】（青）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員は、全体の90%が加入している。（48名）
	<p>【イベント】（青）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域のイベントに参加しづらい。 ・町の補助金が減額され開催できなくなったイベントもあると聞く。 	<p>【観光協会等の実情】（商）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光協会のあり方について、いつまでも役場の事務委託を続けるのはいかがかと思う。観光協会はイベント実行委員会の感がある。 ・観光協会は商工会と一緒にいるのが現状である。合併に向けて、職員配置など整理が難しい。 ・団体の役員改選時に合わせ、合併を行う団体もある。 	<p>【観光振興】（青）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地に地元のものが食べられる場所がない。 <p>【イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各区のイベントには交通手段がなく見に行けない。（青） ・子どもがいなくなると興味がなくなる。（青） ・冬のイベントがない。（子） 	
	<p>【特産品】（商）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特産物の再発見と販売場所の確保。 ・地場産品（特産品）の販売促進。 			
	<p>【雇用の安定】（農）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用の場がない。 		<p>【仕事がない】（青）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事をする場所が少ない。働く場を確保して欲しい。 ・土木建築の方の仕事が少いと聞く。大変だと思う。 ・町の仕事がないものではないか。 	
				<p>【公共工事の確保】（商）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設関連で、北檜山区に解体工事が集中しているのではないかと。瀬棚区はなにもない。
<p>【営林署跡地の活用】（商）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧営林署跡地をどう有効利用すべきか？商工会としても早急に協議し、町と連携をとりながら、最善の方法を見いだしたい。 				
	<p>【明るいまち、楽しいまち】（青）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・娯楽施設がまったくないので、住民全体が退屈している様な気がする。 ・道の駅の有効な利用方法はないか。 ・釣り場が有名であるが、地元には何も落とさない。利用料の徴収など、何かないか。 			

<p>【産業振興】（商）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一次産業が活発でないと町も活気がない。 ・地域産業の話し合。（高） 	<p>【産業振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次産業（基幹産業）が活発でないと、町（商店）も活気がでない。（商） ・商工だけ考えるのではなく、町全体で検討しなくてはならない。町経済の活性化。（商） ・行政と民間が協力し、産業を活性化させる。（商） ・地場産業の振興。（商） ・長い目で産業の育成。（商）（青） ・少子化、高齢化の問題、及び産業の振興。（地） 	<p>【産業振興】（商）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消の推進をもっと図るべきである。 ・給料などを地元のみで使える商品券で支払って、地元で買い物をしてもらう。 ・お金がなければ何もできない。外貨を稼ぐことを考えるべきである。
	<p>【商業の振興】（商）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店関係も利益率を少し引き下げて努力すべき。 ・住民も少しでも町内で消費する意識を改める。 ・町として、地元、町内で消費する事がどういう事なのか。商店関係、地域住民も納得する様な形を示し、どんどん働きかけるべき。 ・常に交流を図り、大いに意見交換を出来る様、行政も取り組んで欲しい。 ・総合的なスーパーがほしい。（子） ・総合スーパーも大事だが、地元商店が大事である。（青） 	<p>【商業の振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各商店が今まで以上に努力して、他の町への流出を防ぐためのアイデアや、商品の品を増やしたり、価格をなるべく大型店に近づける努力が必要。まずは自分達で。（青） ・みんなで町づくりという意識。意識の高揚と具体化。中心市街地の再活性化という強い意思表示。（青） ・まず街並みを綺麗にする。（青） ・商店も企業努力が必要、価格など町外や他区への流出対策。（教） ・3区の特徴を生かした商店街、まちづくり。町民と協力したまちづくり。（商）
<p>【空き店舗の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空施設に貸店舗の設置（青） ・将来増えるであろう空店舗対策（商） 		<p>【空き地、空き店舗等の活用】（青）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家、空き地を整理して町を明るいイメージに。 ・空き店舗が増え、商店街としての連続性が薄れている。 ・商売をやりたい人が出店しやすいように、町、組織が空店舗を借り上げ、低家賃で貸し出す。 ・若い人、新しい人が入りやすい、やる気のある店が増えると人が集まり、その人をターゲットにした新しい商店街。 ・長期的な将来ビジョン、計画性。 ・空地を何か皆で利用し、楽しめる場所に。 ・信金の跡地を利用してミニ公園などには。 ・町全体また商店街の活気づくりが必要でないか。 ・不動産の有効利用を早急に検討すべきである。3区で重複する施設を調査し、統合してはどうか。（商） ・民間への売却など有効活用の検討。（商） ・信金の跡地を町で購入して活用を。（商）
<p>【民間活力の活用】（商）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P F I等で民間と共同で事業を行う。 ・空き店舗の活用、起業希望者への助成。 ・民間と協力した公共事業の実施。例えば民間がアパートを建設し、入居者や家賃の差額を町が受け持つなど。 ・町単独事業など、町が当初に予算を提示し、民間業者にどれだけのものが建設できるか競い合わせてはどうか。プロポーザルの導入。 		
<p>【後継者対策】（青）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流の場や機会をつくる（独身者） ・若い男女の交流の場を設けてはどうか。役場、農協など女性職員が多い職場を中心に。 ・後継者が戻って、町に住みたいと思わせるような町づくり。 		<p>【後継者対策】（青）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化のため、町外から就業希望者を募ってはどうか。
<p>【雇用対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業を誘致し、雇用対策に力をいれてはどうか。（高） ・生活保護者の雇用の場を設けることができないか。（高） ・全体に言える事だが、仕事がなくて皆さん困っている。皆が明るく、働ける事を願っている。（高） ・若者が定住できるよう職場をつくる。（高） ・若者が働ける場所を確保。（企業誘致）（地）（農） ・特に雇用がないので雇用対策を重点にする。仕事があれば物流もよくなると思う。大型企業等の誘致。（農） 	<p>【雇用対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代に働く場所を作っていきたい。（地）（青） ・働く所がもっとあればよい。（青） ・地場産業があれば若い人も町から出ていかない。（青） 	<p>【雇用対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人が働ける町づくり。（高）（地） ・働く場所の確保は、先ず既存の商店を無くさない努力を。（地） ・公共事業の減少は、全国的なものかも知れないが、仕事を作る方法を考えなければならない。（青） ・高齢者対策により、雇用対策も必然的におきてくる。（商）
<p>【移住対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口が増えていく町づくり。経済活動が上手く活性化される事を望む。都会の人達の移住を進めるべきだ！（教） ・若者定住対策も必要ですが、年寄りに来てもらう政策も必要なのでは？人口増 経済活性化（商） ・団塊世代の退職者を呼び込み、人口増へ向け、当町の有利な条件（土地を与える等）を提示する。（商） ・都会に住んでいた人が退職した後の、第2の人生のスタートの拠点。住居や施設。（青） 		<p>【定住対策】（商）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定住対策の対応により、産業の振興を図るべき。 ・安い住宅地を用意し、地元業者を利用して住宅を建てた人に対し、助成制度を創設する。 ・せたな町出身者を故郷に帰ってきてもらう対応。
<p>【観光振興】（商）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町にある施設等をチェックし、一つの観光ルートを作る。 ・現状の施設や事業を見直し、点から線でつないで総合的なビジョンを作る。（観光や農作物にからめる） ・グリーンツーリズムを生かした観光。 ・修学旅行生が一箇所で体験、宿泊できる受入れ体制。 ・イベントを活用した観光 ・観光関係者だけでなく、地域と協力した体験観光を。 ・檜山全体を考えた広域的観光が必要。 	<p>【観光の振興】（商）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海岸線を利用した遊覧船を出航させてはどうか。 ・道路沿いに、オープンテラスのようなものを整備しては。 ・ツアーなど、団体客の受け入れ施設の整備。 ・地元の味をPRしてはどうか。家庭料理など。 ・観光協会は民間の利益団体として発展していくべき。 ・海岸の範囲を決めて、自由に海産物を取らせては。（青） ・キャンプ場で水を販売してはどうか。（青） 	<p>【観光振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客が地域にもたらずものと観光投資。（商） ・立象山を利用して人を集めてはどうか。（青） ・喫茶店があればいい。（青） ・町内に、地元の食材を食べるところがない。（青）
<p>【海を生かした観光づくり】（商）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・せたな町の自然を生かした観光の実施。釣り客を対象とした観光など。 ・洋上風車の有効活用を考えてはどうか。町民に対しても洋上風車のメリットをきちんと説明すべき。 ・洋上風車など、施設を単体で活用するのではなく、他の 		<p>【海を生かした観光づくり】（商）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海を活用した体験型観光。 ・民宿の利用者へ地引き網等、漁業体験をさせてはどうか。漁業と商業のタイアップ。 ・フェリー（瀬棚～奥尻）の通年運航。

<p>施設と組み合わせて使うなど、ある施設を総合的にまとめて事業の計画をしてはどうか。例として洋上風車とバイオマスを利用した農業など。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬棚から大成までの海岸線を有効活用して、定期船を運航してはどうか。 		
		<p>【新しい観光産業おこし】(商)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食を中心とした町づくり。地元の食材を利用した特産品、観光の広がり。 ・水仙の規模を大きくし、水仙を利用した観光を行ってはどうか。
<p>【イベントの充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各区のイベントの手伝いを期に、交流を図ってみてはどうか。少し時間をかけて。(青) ・北檜山区のイベントは、多すぎてメインになるものがない。イベントを統一して大きなイベントを実施して。(青) ・行事・イベントの見直し。(青) ・各地域での大きなイベントには町のバス等を活用。(地) ・各区のイベントに職員を派遣したり、各区の間をシャトルバス運行して、各区の職員と町民の交流を図ってほしい。(地) 	<p>【イベントの充実】(商)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬の観光を考えて頂きたい、イベントも含めて。 ・せたな町の3区間での観光推進を。 ・イベントの交流。 	<p>【イベント交流】(青)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急がず時間をかけて交流してはどうか。
<p>【特産品の開発と販路拡大】(商)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特産品PRそして広域観光。 ・農産物等に付加価値を付けPRする。 ・各区の特産品を集約した物産館の建設。旧営林署跡地を利用。 ・地場産を活用した商品開発。 ・地場産品の販売場所の建設、農産物・海産物の詰め合せセットのネット販売。 ・消費者は、安全性が高い顔の見える商品を求める。商品に付加価値を付け、販売ルートの確保が不可欠。 ・大きいトイレを作って、そこで野菜等売ってはどうか。(道の駅の活用)(高) 	<p>【特産品の開発と販路拡大】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅の活用。特産品を販売してはどうか。アンテナショップにするのはどうか。(商)(青) ・観光物産の開発などに着手する方向性を見出して。(商) ・昔に製造したワカメ焼酎に改良を加え復活しては。(商) ・PRを行い、観光客などどこで特産品を購入できるか、分かる方法で。(青) 	

住民懇談会意見（部門別整理表）

【その他】<行財政まちづくり関係>

	北檜山区	大成区	瀬棚区
地域の話題・課題	<p>【合併後の不安】（地）</p> <ul style="list-style-type: none"> 合併したが旧町意識がある。 	<p>【合併後の不安】</p> <ul style="list-style-type: none"> 合併により、行政エリアが拡大した。（高） 合併して各協議会などの会議がほとんど北檜山区で行われて、不便である。（高）（教） 本庁中心と云う考え方はやめて欲しいと思う。（商） 行政の考えが、住民に伝わっていない。（高） 合併し、北檜山区に人口が流れていく。（地）（商） 大成区の活性化をするためには、どうすればいいか。（教） 合併により町内から引越す人も沢山いる中で、ずんずん淋しくなる。（青） 合併したが、各区の伝統や個性を失って欲しくない。（青） 合併により区が衰退する。第一次産業が活性化しなければ区はよくなる。地域が廃れないように。（商） 地域的な面があり、他区との交流が不安。（商） 	<p>【合併後の不安】</p> <ul style="list-style-type: none"> 合併後、瀬棚区が寂れていくのではないかと不安。（子） 合併後の町政運営は平準化と言っているが、平均化にはなっていない。（地） 豊かな生活が続くと希望を持った合併だったが、財政、医療問題など、町民は非常に落胆している。（地） 合併によりいろいろな機関がなくなるのではないかと。（支所の人数、金融機関等の撤退等）（地） みんな不景気、不景気と言っているが、合併してから尚更その言葉が多く聞こえてくる。（青） 総合支所の人が減り寂しい感じがする。（青） 行政の仕事がスムーズでない。（高） 町全体が暗くなっている。（青）
	<p>【財政問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町の財政、大変と聞いている。住民へのサービスの低下が考えられる。（高） 町の財政は、潤いがあるのか、赤字なのか。（高） もし、せたな町が夕張の状態となった場合（破産・倒産）、国でやるようになるのか。（高） 町の財政がよくなる事をお願いする。（高） 財政難について、町民が具体的に理解できないのではないか。（地）（商） 	<p>【財政問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 財政非常事態宣言の中で、町民はどの様にして協力したらよいか。（地） 18年度の交付金の減額は何が原因なのか？（地） 各区によって補助金等が異なる。（教） 無駄な経費の使い方。（教） 	<p>【財政問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国が打ち出している事業は、ほとんど町負担があるが、最初から出来ないだろうとあきらめてしまう。（青） 何かにつけて予算がないと云って話にならない。（青） 町が率先して節約したあとに方向性を示さなければ、町の姿勢が見えない。（商） お金がないと言っている以上、何かを提案してもお金ないで終わってしまうのではないかと。（商） 財政難と言っているが町民がどう協力したらいいかわからない。（商）
	<p>【役場の体制と職員の意識改革】（地）</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間的発想。民間では合理化、配置換えしている。職員も同じ気持ちをもつべき。言葉より実行を。 町民もそうだが、町職員も他の区のことを知らないでいる。これではよい行政運営はできない。 職員間の交流や融和を早く行ってほしい。 町民の要望がいつ実現するのかわからない。（教） 		
	<p>【総合計画】（教）</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合計画をつくる意味が理解できない。 懇談会の人数が少ない、計画をたてられる意見がでるのか。 懇談会の区分、対象団体はこれでいいのか。 		<p>【町の将来像】</p> <ul style="list-style-type: none"> 合併後1年を経過、行政のスタンスが明確にされていない事が不安。様々な部門で。（地） 現状の財政等を考えると、総合計画は絵に描いた餅にならないか、不安である。（地） 町の将来性（ビジョン）が見えない。（青）（地） 話を聞くだけで実効性がないなら意味がない。（計画への反映）（商）
			<p>【少子化、人口減少】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の人口減。住民の安全。（地） 人口の減少はどうにも成らないと思う。（地） 少子高齢化が、一番の課題だと思う。（青） 人口が増えるための何か方法はないものか。（青）
		<p>【町の傾向】（青）</p> <ul style="list-style-type: none"> 人をねたむ風土がある 	

地域としての解決策・アイデア・重点テーマ	<p>【合併後のまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 前より、もっともっと良くなることを願う。（高） 大人なのだから、大きく考えてほしい。一緒になれば何とかなるものだ。頑張ってもらいたい。（教） 基本として、新町の憲章等を定め、そこから細部へ拡大していくことも必要。（教） 一年や二年間だけでは、目に見える方法が漠然としすぎて考えが浮かばない。徐々に進行しながら、方向づけが見えてくるように思う。（青） 区の壁をなくし、せたな町としてグローバルな地域作りを先行させる。（商） まだ各地区がバラバラの感がある。まずはせたな町が一体となることが重要。（商） 	<p>【合併後のまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人にやってもらうまちづくりではなく、自らが行う町づくり。町民自らが具体的に行動すること。（教） 子供から老人まで、活発に動ける町づくりを目指す。（教） 町民の暮らしが区によって差があるのは変である。（教） 会議は、北檜山区だけでなく各区で行ってはどうか。（青）（商） 新しい町づくりでは、なんとか明るい話題、合併になってよかったと思うようになってほしい。（青） 三区の行事の何かを大成区にもまわしてほしい。（青） 地域のことを考えての地域づくり。（商） 地域住民の安心安全を考えた地域整備。（商） 講演会、コンサートなどは順番にしてほしい。（商） 	<p>【合併後のまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 非常に厳しい財政事情であるが、現状に即した町の姿勢の実現に向けた施策の適切な設定と重点事業を中心に、新町としての一体感が感じられる住民自治と行政の積極的な地域に向く体制づくりが緊要である。（高） せたな町としての理想的な地域像を設定し、それをわかりやすく図式、具体像で象徴化する。（高） 地域のネットワークを作る。（高） 差別はやめてほしい、3区の平等。（子） 平準化とはレベルを下げることでなく、レベルアップにならなくてはならない。（地） ソフト面をもっと充実させてはどうか。（地） 新せたな町に三区民が愛着を持てる町。（地） 3区が、競い合い、助け合い、分かち合うことによって、安心して暮らせるまちづくりを進めてほしい。（地） 子供達が夢を持てる町づくり。（地） 周辺地である瀬棚区、大成区の人口減少に歯止めをかけることが、せたな町の現状維持を図ると考える。（地） 人口を減少させない努力。（地） 合併によって地域が寂れないような施策を。（教） 合併による効果を見せて、町民を理解させては。（教） 3区を平準化にすれば良いと思う。（青） 合併して思う事は、他の町から「せたなは、魅力あるな」と言われる町にしていけたら最高。（青） 一生安心して暮らせる町、未来が見える町。（青） 合併以後、沈滞気味のムードを明るく。（青） 不安のない町にしてほしいです。（青）
		<p>【地域の特色ある町づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各区の個性を生かした町づくりを。各区の皆と、残していく物や継続していく事を考えていく。（青） 	<p>【地域の特色ある町づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各区毎、特色はあっても共通点も見出し、公平なせたな町となってほしい。（高） 地域に合っている施策を。町全体の一本化は必要ない（高）

		<ul style="list-style-type: none"> ・特色を明確にし、せたなしかできない(体験できない)町づくりをしたい。(子) ・各区の特色ある地域づくりを進めていく必要がある。(地) ・特色ある地域づくりをするためには、全町民への理解が重要である。(地) ・三地区均衡のとれた町づくりは望ましいが、その地区で特色のあるやり方でも良いのではないか。(地) ・各区でメインのものを作って人の出入りを多くしては。(青) ・瀬棚区、良い町づくり。(青) ・地区ごとの特徴を行かし、それぞれを発展させて欲しい。(青) ・各区の特色を生かした町づくりをする。例として瀬棚区は福祉、大成区は文化、北檜山区はスポーツなど。将来の展望をもって行えば町民も理解するのでは。北檜山への集中は避ける。(教)
	<p>【住民参加】(高)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療問題、除雪問題、老人クラブ活動に関しては、懇談会等の回数を多くして、広く住民の意見を聞く様にしたらい。 ・住民懇談会に多数の参加を願いたい。(地) ・町づくりはお金も必要だが、それ以上に、人のつながり、輪を拡げることが、町全体の活性化につながる。(教) ・各区で会議を積極的に開催する様にする。(教) ・今回のような懇談の場を年1,2回程度行ってほしい。色々な意見が集約できる。(教) ・このような話し合いの場を多く設け、地域住民の話を聞き、町を活性化させるためにどうすればよいのか、自分たちの中でまだやってない取り組みがないのか話し合うべき。(教) ・根本的な問題を解決せずして、新しい町づくりは成し得ないので、将来を見据えた取組みと区民の声が必要なのではないか。(教) ・住民の声をよく聞いて欲しい。今の老人のためでなく、これから老人になる私達のために。(青) 	<p>【住民参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の声を出し続ける。(高) ・各地域毎にアンケートを取って、それを取りまとめるのが必要。(青) ・まちづくり懇談会など話し合う機会づくりと、職員力の発揮できる場。きっかけづくり。(商)
<p>【住民の交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧3町町民の融和が出来るようにして欲しい。(地) ・各区の町民交流の場も必要。町の発展には欠かせない。(地)(農) ・年寄りから子どもまで、一緒に参加できるイベントがほしい。(学校との連携も必要)(高) ・3町が年1度や2度、合う機会がよいと思う。(高) ・人を知らなければまちづくりにはならない。(まちづくりの基本)(高) 	<p>【住民の交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家を利用した町民交流の場がほしい。(地) 	<p>【住民の交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各区の町民の交流が図られる場づくり。(地) ・人が集まる場所を作る。(青)
<p>【財政】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合併し難しい面も多々あるが、今は3区とも無理をせず、じっと耐える時期。やりたい事業はそれぞれたくさんあると思うが、町としてメドが立った時点で進むべき。町民はそれに理解をしてくれると考えます。頑張ってください。(高) ・財政危機にありながら、「何でもかんでも」助成金を出し過ぎ。無駄な金を流さないため助成金全面廃止せよ。(高) ・経費の見直し、本当に必要なものと必要でないもの。(高) ・合併直後は、お金を使わないよう我慢するのが大事。(高) ・将来のせたな町の「うるおい」に望みをかけ、辛抱しよう。10年待ち。(高) ・財政再建には、民間の発想が必要。合理化や職員の意識改革も不可欠。(地) ・財政再建計画を作成し、町財政を立て直してほしい。(地) ・今後も大変な財政問題について、町職員、町民が「いたみ」を伴うことを意識しなければならない。(地) ・町の財政状況の町民へのPRと理解。(地) ・金が無いんだから、知恵出して助け合って。オリジナルの発揮を。(地) ・町の事業に優先順位を付け、町民に提示してほしい。(教) ・財政が厳しい今、町民やボランティアの融合が必要。(教) ・町からの書類の発送に帯を使用したり、小さめの封筒にしたり、コンパクトにして郵送料を削減してはどうか。(青) ・限られた予算の中でのやりくりは、家庭も一緒。何が必要かを見極めて下さい。(青) 	<p>【財政】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政難でも必要なもの不要なもののやりくりを徹底してほしい。(高)(地) ・よく考えて行動して欲しい。(高) ・財政が厳しいからこそ、事業を絞り込む。(地) ・発想の転換も必要。(地) ・町長が宣言している財政非常状態について、今後、町財政健全化に対し努力して欲しい。(地) ・各区の補助金データ資料を公開し、配分方針にそって補助金額を決定していくようにする。(教) ・財源の確保。(教) ・お金を使わない工夫。(教) ・無駄な経費は辞めた方がいい。(青) 	<p>【財政】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政問題も含め、暗いムードを払拭してほしい。(青) ・すべてカットではなく、実情を見ながら補助を。(青) ・経費の削減策を図るべき。車両の削減、人件費、人員の削減。(商) ・職員給与の削減。目に見えるように。(商) ・補助金の見直しを徹底的に。(商) ・税金や手数料の未収金の回収を図る。(商) ・土地等の利用料、使用量の調査を実施し、適正な料金徴収を。(商)
<p>【役場の体制と意識改革】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役場職員がもっと地域行事等に協力する体制作りが必要。(地)(教) ・人口規模に対し、職員数が多いので、職員削減を検討してもらいたい。人件費削減。(地) ・町民と職員は表裏の関係、両輪。職員は営業になり他町に発信せよ。職員が町民に親切になれば、町民も協力するようになる。(地) ・意識改革、いい意見も絵に描いた餅にならないように(地) ・町広報、町政懇談会、町職員居住地を活用し、町政についての理解浸透を図ることも一要素として求めたい。(教) ・若者が多くいる役場は、職員の参加を奨励してほしい。 ・数多くの議論の場が必要。率先してリーダーに。(教) ・イベント等でも、町職員の協力がほしい。(青) ・行政の強い指導力が必要。民の意見を聴くことは大事だが、民を導くことも、もっと大事。(農) 	<p>【役場の体制と意識改革】(地)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町職員が各地区の手伝いをする地区担当制度は大変よい。 	<p>【役場の体制と意識改革】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員心の成長。特にボランティアについての認識=自己成長の意識化。(高) ・ハード、ソフトも、行政の提案と積極的な指導が必要。(地) ・各区の役場職員の交流を行ってほしい。(地) ・各区毎の住民間の交流は、これから時間をかけて行っていくものであると思うが、同じ区内なのに、行政と住民(民間)の交流(コミュニケーション)が全然足りていないと思うことが多々あった。今後の事業、目的達成のためには、行政の柔軟な対応、姿勢も大切。(青) ・職員の大規模な移動により、区のしがらみをなくしてほしい。(商)

地域としての解決策・アイデア・重点テーマ	<p>【住民の意識改革】（地）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民には町が助成してくれたり、何とかしてくれるという意識がある。町民も自分でできることは自分でする意識改革が必要。 ・町民と町職員全体が協力して、意識の改革を進める。（地） 	<p>【住民の意識改革】（青）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大成区だけでなく、他町のこともよく考えて生活したい。自分達で出来ることは、自分でするようにしたいです。 	
	<p>【広報の工夫】（地）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会便りや町広報で示されている用語や億単位の額では、一般町民の感覚では理解認識できないものが多い。マンガ風、町民一人当たり、借金の額やその返還方法などをわかりやすく知らせ、その上で町民自らの努力で解決しようとする意識の改革を図る必要がある。 		<p>【町広報】（商）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町広報は、希望する人のみに配付すべき。主要な場所に配置すればよい。
	<p>【情報提供】（教）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物の使用等の情報、制度、条例を提供してほしい。 ・町政懇談会でも人が集まらないので、広く周知してはどうか。 ・町の動向がわかるような掲示板等、広く周知するものがほしい。 ・すべてのことについて、情報を公開してほしい。そのことによって何をどうするべきかが見えて来る。 ・早期の情報の提供を。（農） 		
	<p>【公共施設の有効活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各区の箱物の撤去、統合により経費節減に努める。（教）（商） ・箱物は各区にあまるだけある（学校含めて）。有効利用を。（教） ・老朽化した建物の再点検、整備が必要では。（商） 	<p>【施設の有効利用】（商）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寿の家や生活館を民間業者の展示に利用させてはどうか。 	<p>【施設の有効活用】（商）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいセンターの利用方法。
	<p>【総合計画の作り方】（地）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合計画は、各区町民の生の意見を聞いて、実態にあった計画を作成すべき。実現できない夢の多い計画より、身の丈にあった計画づくりを。 ・今日出た意見について、一回きりの話し合いしか出来ないことは、時間的にある程度仕方ない。結局、町職員にお願いして、しっかりしたものを作ってほしい。（教） 	<p>【総合計画の作り方】（地）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各区の特色ある産業を生かした計画づくりを。 	<p>【総合計画の作り方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政破綻にならないために、ハードよりソフトを柱にした計画にすべき。（地） ・せたな町のスローガン？がほしい。（青）
		<p>【その他】（子）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解決方法があるのか。こっちが聞きたい。 	

せたな町総合計画策定に係る住民懇談会意見集

【部門別整理表】

〔目次〕

生活環境専門部会	<建設水道関係>	P 1
	<地域生活関係>	P 2
	<環境衛生関係>	P 2
福祉文教専門部会	<福祉施策関係>	P 3 ~ P 4
	<子育て関係>	P 4
	<保健医療関係>	P 5
	<教育関係>	P 6 ~ P 7
産業経済専門部会	<農林業関係>	P 8 ~ P 9
	<水産業関係>	P 10 ~ P 11
	<商工観光関係>	P 12 ~ P 14
その他	<行財政まちづくり関係>	P 15 ~ P 17

総合計画策定に係る住民懇談会開催状況

区 分	対象団体等	開 催 状 況					
		北檜山区		大成区		瀬棚区	
高齢者	・老人クラブ ・高齢者事業団 ・社会福祉協議会	8月8日(火) 午後2時～ 役場第一会議室	出席者数 10人	8月22日(火) 午後2時～ 大成総合支所会議室	出席者数 16人	9月6日(水) 午後2時～ 瀬棚総合支所会議室	出席者数 10人
子育て	・保育所父母の会 ・子育て支援センター	8月8日(火) 出席者なしのため中止 (担当者より聞取り)	出席者数 0人	8月22日(火) 午後6時30～ 大成総合支所会議室	出席者数 4人	9月6日(水) 午後6時30～ 瀬棚総合支所会議室	出席者数 4人
地域振興	・町内会	8月9日(水) 午後6時30分～ 役場第一会議室	出席者数 7人	8月23日(水) 午後6時30～ 大成総合支所会議室	出席者数 5人	9月7日(木) 午後6時30～ 瀬棚総合支所会議室	出席者数 11人
教育・文化・体育	・PTA ・文化団体 ・体育団体	8月10日(木) 午後6時30～ 役場第一会議室	出席者数 7人	8月29日(火) 午後6時30～ 大成総合支所会議室	出席者数 8人	9月12日(火) 午後6時30～ 瀬棚総合支所会議室	出席者数 1人
青少年・女性	・青年団体(産業団体 含む) ・女性団体(産業団体 含む)	8月11日(金) 午後6時30～ 役場第一会議室	出席者数 9人	8月30日(水) 午後6時30～ 大成総合支所会議室	出席者数 12人	9月13日(水) 午後6時30～ 瀬棚総合支所会議室	出席者数 12人
農林業	・農業協同組合 ・森林組合	8月16日(水) 午後6時30分～ 役場第一会議室	出席者数 8人	8月31日(木) 出席者なしのため中止	出席者数 0人	9月22日(金) 出席者なしのため中止	出席者数 0人
水産業	・漁業協同組合 ・内水面組合	8月17日(木) 瀬棚区と合同とし中止	出席者数 0人	9月1日(金) 午後6時30～ 大成総合支所会議室	出席者数 2人	9月20日(水) 午後3時～ 瀬棚総合支所会議室	出席者数 11人 北檜山区合同
商工観光・建設業	・商工会 ・観光協会 ・建設協会	8月18日(金) 午後6時30分～ 役場第一会議室	出席者数 5人	9月5日(火) 午後6時30～ 大成総合支所会議室	出席者数 7人	9月21日(木) 午後6時30～ 瀬棚総合支所会議室	出席者数 12人
			計 46人		計 54人		計 61人

【延べ開催回数20回、延べ出席者数161人】